



地域に支えられ

育まれる和小っ子

和渚小学校

今回は、和渚小学校を紹介しましょう。

緑もゆる和渚山を背に、豊かな水をたたえた北上川のほとりに和渚小学校はあります。

昨年十二月に新校舎が完成し、



一月には子ども達と保護者で引越しを行いました。白を基調にした美しい校舎で、カーブをえがいた屋根は、北上川の流れのようでもあり、和渚山のようでもあります。このすばらしい新校舎に恥じぬよう、子ども達や教職員は、気を引き締めて「強く(健康でねばり強い)、賢く(自分で考え、学び)、美しく(礼を知り、助け合う)」という教育目標に向かって取り組んでいこうと心新たにしています。

和渚は育成会が県内で最も早くに結成された地で、現在も活動が盛んです。

春には、地区ごとに趣向を凝らしたみこしを作って学区内を歩く「みこし祭り」があります。六月には、五年生が地域の施設で一泊二日のインリーダー講習会を行います。また、夏休みには、地域を挙げて「水辺の楽校」でサマーフェス

ティバルを開催します。昼には、ボーリング、ザリガニつり、竹馬に挑戦し、夜には、キャンプファイヤーと楽しいひとときを過ごします。昨年は、六年生が、焼きそばやかき氷作り、くじ引きのお世話などの屋台体験をし、働くことの大変さや楽しさを実感しました。さらに、一月には、和渚山登山を行い、ふるさとの景色を堪能し、学校に戻ってからはおいしい豚汁が振る舞われます。

このような環境に恵まれ、子ども達は進んで元氣よくあいさつができるようになってきています。これから子ども達が健やかに成長するよう地域と学校が一体となって様々な活動に取り組んでいきます。



にぎやか家族 ⑬

桃生町新田



(写真右から)

《中学生になって》

佐々木 和 さん(12歳) 部活でソフトボールをがんばりたい

《将来の夢》

和 之くん(10歳) プロ野球選手
和 大くん(8歳) サッカー選手
和 生くん(5歳) 野球選手

今月の表紙から

みそ汁やうどん、そばなどの薬味としておなじみのスリムねぎは、ビタミン・カルシウム・鉄分・カロチンなどが多く含まれる栄養価の高い食材です。

博多万能ねぎが有名ですが、県内では桃生町と涌谷町が二大産地と言われ、東京方面や東北各地に出荷されています。特に東京の市場では、安定した出荷量と高品質で強い信頼を得ていて、シニア率が高く他の産地を凌いでいます。

佐藤さんは、25年前にスリムねぎの栽培を始め、現在では26棟のビニールハウスで年間約20トンを出荷しています。収穫期は通年ですが、種まきは年に2から3回で収穫までは約70日

かかります。土にこだわり有機肥料を主体に心を込めて作られたスリムねぎは「仙台スリムねぎ」のブランドで流通しています。

最近では、小学校の総合学習の一環として農業体験学習が行われ、栽培学習を通して地場産品の普及振興に役かっています。一般の方も見学できるので、興味のある方はぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。



J A いしのまきスリムねぎ部会 監事
佐藤 力治 さん
(桃生町中津山)



雄勝の自然に大満足

齋藤

まさのり
正 憲さん
かよ子さん

(ご夫妻(雄勝地区唐桑))

今回は、雄勝に移住して3年目を迎えた、齋藤正憲さん、かよ子さん夫妻を紹介します。



齋藤さん夫妻は、夫の正憲さんの定年退職の後2年間は仙台で暮らしましたが、田舎での生活に憧れ、移住を決めました。移住する地の条件は、釣りが趣味なので、海がきれい、ということでした。海がきれいなところはたくさんありましたが知り合いの方が、「目の前が海」という絶好の空き家を紹介してくれたことで唐桑に住むことを決めました。

正憲さんは、観光バスなどのドライバーをしていたことから正憲さんはいろいろな観光名所を知っていて、寒い季節にはあちこちの観光地や温泉を巡り、暖かくなると船を下ろして沖釣りを楽しんでいきます。奥さんのかよ子さんは唐桑に住むようになってから釣りを始めました。初めて釣りをしたとき、30センチを超えるような大きな魚が釣れてから正憲さんと一緒に行く「沖釣り」が楽しみになりました。また仙台の釣り仲間も月に2〜3回くらい遊びに来るそうで、みんなが唐桑の海を思う存分満喫していき、それも齋藤さん夫妻の楽しみになっています。

地域の皆さんにはいつもおいしい海



の幸などをおすそわけしてもらったり、一緒に沖に行っているいろいろなことを教えてもらったりと、日ごろ何かとお世話になっていることから、その恩返しに何か地域活動をしたいと思っていたときに、消防団から誘いがありました。年齢的に(邪魔になるだけ・・・)とも思いましたが地域の役に立てればと、思いきって入団しました。

そんな齋藤さん夫妻は、とにかく今の生活が気に入っていて、住んでみて新たに気づけた雄勝の新緑の中の空気のおいしさ、地域の人たちのあたたかさをいそいそと語ってくれました。

羽ばたけ！ 若人 ③



さち
渡辺 紗知さん
(石巻好文館高等学校 3年)

平成17年12月に行われた全国そろばんコンクール高校生の部で日本一となった渡辺紗知さんを紹介합니다。

渡辺さんがそろばんを始めたのは小学1年生のとき。お兄さんが習っている姿を見て、自分もやってみたくと思うようになったそうです。毎日約2時間の練習を行い、小学6年生のときに段位としては最高位の10段を取得しました。

「練習すればするほど、上達が肌で感じられ実感がわく」とそろばんの魅力を語る渡辺さん。

周りから目標にされる立場になり、自分自身にプレッシャーをかけながら、意欲的に難しい問題にも挑戦しています。

高校卒業後は大学への進学を希望していて、最大の目標は、参加資格6段以上の取得者により2年に1度開催される「珠算名人位決定戦」で優勝し、名人位の称号を獲得することだそうです。

